

## 平成30年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会 会議概要

|  |   |       |           |                      |   |       |   |       |
|--|---|-------|-----------|----------------------|---|-------|---|-------|
| (1) 会議の名称  | 平成30年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会  |       |           |                      |   |       |   |       |
| (2) 開催日時   | 平成30年8月2日(木) 午後2時から午後3時30分まで  |       |           |                      |   |       |   |       |
| (3) 開催場所   | 議会棟 第1委員会室  |       |           |                      |   |       |   |       |
| (4) 出席又は<br>欠席した委員<br>その他会議に<br>出席した者の<br>氏名<br><br>(傍聴人を<br>除く)<br><br>出：出席<br>欠：欠席 | 委 員 (市職員以外)   |       |           |                      |   |       |   |       |
|  | 出   | 土井 紀弘 | 出         | 小川 英郎                | 欠 | 湯下 廣一 | 出 | 寺岡 加代 |
|  | 出   | 宮本 賢治 | 出         | 大内 隆太                | 出 | 大倉 恭子 | 欠 | 内田 裕美 |
|  | 出   | 山口 久枝 | 出         | 間弓 百合子               | 欠 | 池田 優樹 | 出 | 吉武 民樹 |
|  | 事務局その他市職員の出席者   |       |           |                      |   |       |   |       |
|  | 健康福祉部   |       |           |                      |   |       |   |       |
|  | 社会福祉課   |       |           | 三澤次長、山田課長補佐、山澤、草野、高橋 |   |       |   |       |
|  | 高齢者支援課  |       |           | 加藤主幹、岩崎主幹            |   |       |   |       |
|  | 障害福祉支援課   |       |           | 三澤課長補佐、小池課長補佐、飯田園長   |   |       |   |       |
|  | 健康づくり支援課  |       |           | 加崎課長補佐               |   |       |   |       |
|  | 国保年金課   |       |           | 野口課長補佐、本庄課長補佐        |   |       |   |       |
|  | 子ども部  |       |           |                      |   |       |   |       |
|  | 子ども支援課  |       |           | 中場課長補佐、蛭原課長補佐        |   |       |   |       |
|  | 保育課   |       |           | 星課長                  |   |       |   |       |
| 子ども相談課   |   |       | 阿部課長、遠藤所長 |                      |   |       |   |       |
| (5) 議題   | (1) 第5次健康福祉総合計画平成29年度主要施策の実績及び<br>中間評価について<br><br>(2) 健康福祉部・子ども部の各計画の会議概要について<br><br>(3) 第6次健康福祉総合計画(地域福祉計画)の策定について |       |           |                      |   |       |   |       |
| (6) 公開・非公開の別   | 公開  |       |           |                      |   |       |   |       |
| (7) 傍聴人の数<br>(会議を公開した場合)   | 傍聴人の数   | 0人    |           |                      |   |       |   |       |

|  |  |
|--|--|
| (8) 会議の内容【概要】                          |  |
| ○健康福祉部次長挨拶                             |  |
| 議題1 第5次健康福祉総合計画平成29年度主要施策の実績及び中間評価について |  |
| 吉武会長                                   | <p>これより、平成30年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会を開催いたします。</p> <p>では、まず議題1のうち、第5次健康福祉総合計画 平成29年度主要施策の実績について、各課の説明員より説明をお願いします。</p>  |
| 事務局                                    | <p>平成29年度主要施策の実績について、資料1に基づき、</p> <p>健康づくり支援課<br/> 高年齢者支援課<br/> 障害福祉支援課<br/> あらかき園、障害者福祉センター、障害者就労支援センター<br/> 国保年金課<br/> 子ども支援課<br/> 保育課<br/> 子ども相談課<br/> こども発達センター</p> <p>各課から概要説明を行った。</p> <p><b>【子ども相談課】</b><br/> 13ページ 調査票12のうち<br/> 2. 事後評価について、次の数値の訂正があった。<br/> ○継続的な支援を要する件数<br/> 平成28年度 100件 → 171件<br/> 平成29年度 136件 → 227件</p> <p><b>【障害福祉支援課】</b><br/> 28ページ 調査票25のうち<br/> 2. 事後評価について、次の数値の訂正があった。<br/> ○日常生活用具の給付件数<br/> 約3%減少しました → 約5.5%増加しました<br/> 3. 主な指標と評価について、次の数値の訂正があった。<br/> ○日常生活用具の給付件数(件)<br/> 2,252 → 2,909</p> |
| 吉武会長                                   | <p>続いて、平成29年度は、計画の中間年度になります。計画の中間評価について事務局から説明をお願いします。</p>   |

|   |  |
|---|--|
| 事務局   | <p>第5次健康福祉総合計画の進行管理として、毎年度、資料1の主要施策評価表により、各所管課では、施策の評価、課題その改善点等を報告し、委員の皆様よりご意見いただき進めています。</p> <p>第5次健康福祉総合計画は、平成27年度から平成31年度までの5か年計画で、29年度は中間年にあたり、資料2として、資料1の主要施策評価表に基づく施策ごとの年度別の評価と今後の進め方を一覧表にまとめました。</p> <p>施策評価では、「1. 順調」及び「2. ほぼ順調」が全体の94.3%となりました。</p> <p>「3. やや遅延」としているのは、施策7 子育て仲間づくりの場の整備として「保育園庭開放」の利用者数に遅れがみられています。</p> <p>また、施策17 健康に関する意識と健康管理の習慣づくりと 18 高齢者が元気であるための健康づくり のうち各種がん検診の受診率にも遅れがみられています。各々改善に向けた取り組みに努めております。</p> <p>今後の進め方では、「1. 現状どおり推進」もしくは「2. 拡充」であり、概ね順調に施策の取り組みが行われています。</p> |
|   | <p>本日配布しました資料 健康増進・福祉サービスの提供などの達成度をご覧ください。</p> <p>また、お手持ちの計画書10ページをご覧ください。</p> <p>本計画の基本理念の実現に向けた福祉サービス提供の達成度を客観的に図る指標として、企画で実施している「市民アンケート調査」のうち健康福祉施策の満足度の向上を掲げています。</p> <p>配布した資料は、平成27年7月に実施した「市民アンケート調査」結果になります。</p> <p>健康福祉施策の満足度は、各々向上していますが、「地域で支える福祉の充実」については、一層の充実が必要との結果になっています。</p>  |
| 吉武会長  | <p>平成29年度の主要施策の実績及び計画の中間評価について説明がありましたが、このことでご質問やご意見などございますか。</p>  |
| 土井委員  | <p>胃がん検診を胃カメラでも実施する時期を教えてください。</p>   |
| 健康づくり支援課  | <p>現在、来年度以降の導入に向けた検討を行っているところです。</p>   |
| <p>議題2 健康福祉部・子ども部の各計画の会議概要（重点事業や重要な課題等）について</p> |  |
| 吉武会長  | <p>それでは、議題2 健康福祉部・子ども部の各計画の会議概要について、事務局より説明をお願いします。</p>  |
| 事務局   | <p>資料3に基づき、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○障害福祉支援課<br/>我孫子市自立支援協議会について会議概要の説明。</li> <li>○高齢者支援課<br/>我孫子市介護保険市民会議について会議概要の説明。</li> <li>○健康づくり支援課<br/>我孫子市健康づくり推進協議会について会議概要の説明。</li> <li>○子ども支援課<br/>我孫子市子ども・子育て会議について会議概要の説明。</li> </ul>  |

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 吉武会長                           | 委員の方、それぞれ今ご説明いただいた会議のご出席をいただいておりますので、何かご意見なり、あるいは事務局につけ加えておっしゃることありましたらお願いしたいと思います。  |
| 大内委員                           | 自立支援協議会では、障害者プランの実績報告が事務局からありまして、それについて検証しています。<br>緊急時の相談支援、短期入所等の活用、あとはグループホーム、ひとり暮らしへの生活の場の移行をしやすい支援を提供することということで、地域生活支援拠点事業について事務局からお話がありました。<br>こちらについては、我孫子市としては既存のまちかど相談室などを有効活用して、地域における複数の機関が分担して機能を担う体制である面的整備型でやっていくということについてお話がありました。協議会としてもこちらに賛同しております。   |
| 寺岡委員                           | 第7期介護保険事業計画、第8次高齢者保健福祉計画の策定にあたり、昨年度2回ニーズ調査をいたしましたけれども、両方とも結構回答率も高く、かなり市民の意見、希望を吸い上げられたのではないかなと思っております。<br>会議についてということではないのですが、先ほどの特定健診の説明で、胃がん検診を内視鏡検査に移行する、今ご検討中というお話がありましたけれども、もし、それが実施された場合、以前のバリウムを飲むレントゲンの検査は全く廃止になるのでしょうか。   |
| 健康づくり支援課                       | 胃部内視鏡検査導入に向けた検討をする中で、レントゲン検査の廃止ではなく、内視鏡と並行して実施することになると考えています。まだこれは正式決定ではありませんが、例えば、内視鏡を選択された方は2年に1度の検査に変わることや人数制限を設けること等を含めた検討を行っているところです。   |
| 議題3 第6次健康福祉総合計画（地域福祉計画）の策定について |  |
| 吉武会長                           | 続きまして、議題3についてです。<br>第6次健康福祉総合計画についてご説明をお願いします。   |
| 事務局                            | 第6次健康福祉総合計画の策定について、ご説明させていただきます。<br>次期計画については、現在検討をしているところですので、お示しできる資料がございませんので、口頭にて説明させていただきます。<br>現在の計画の第5次福祉総合計画が平成31年度で終了することから、第6次健康福祉総合計画の策定については、課内で検討を重ねているところです。現行の計画では健康福祉総合計画を上位計画とし、健康福祉部門・子ども部門の個別計画の上位と位置づけし、個別計画を横断的につなぐ基本理念と方向性を明らかにした計画となっています。同時に社会福祉法に基づく地域福祉計画を兼ねて作成し、社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画との連携を図っています。<br>このような状況において、平成29年6月公布平成30年4月施行により社会福祉法が改正されました。 |

|      |  |
|------|--|
|      | <p>改正社会福祉法では、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域共生社会の実現に向けて、我が事・丸ごとの地域福祉の推進の理念として、福祉サービスを必要とする地域住民及びその世帯が抱える多様で複合的な分野にわたる地域生活課題を把握し、その解決に資する支援を行う関係機関の連携等により解決を図る旨を明記されました</li> <li>2. この理念を実現するため、市町村が地域住民等及び地域生活課題の解決に資する支援を行う関係機関の地域福祉の推進のための相互の協力が円滑に行われ、地域生活課題の解決に資する支援が包括的に提供される体制整備に努めるものとされました。</li> <li>3. なお、地域福祉計画の充実として市町村地域福祉計画を策定するよう努めるものとされ、任意から努力義務とされました。</li> </ol> <p>厚生労働省では、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を設置して議論されているところです。内容としては、これまでの公的な福祉サービスは、高齢者・障害者・子どもといった対象者ごとのニーズに対して専門的なサービスを提供することで、福祉施策の充実・発展に寄与してきました。しかし、各制度の成熟化が進むなかで、人口減少、家族・地域社会の変容に既存の縦割りのシステムには課題が生じている。</p> <p>具体的には、制度が対象としない生活課題への対応や複合的な課題を抱える世帯への対応、ニーズの多様化・複雑化に伴って対応が困難なケースが浮き彫りとなってきている。たとえば、介護と育児が同時に直面するいわゆるダブルケア、障害を持つ子と要介護の親の世帯への支援などが課題となっている。</p> <p>福祉分野においても、福祉は与えるものから「支えて」「受けて」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えながら自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合う「地域共生社会」を実現する必要があるとされました。</p> <p>他人事になりがちな地域づくりを地域住民が我が事として主体的に取り組んでいく仕組みが必要とされました。</p> <p>平成29年2月7日、地域共生社会の実現に向けての当面の改革工程が決定されました。</p> <p>改革の方向性として、4つの骨格が示されました、一つ目は地域課題の解決力の強化、二つ目は地域を基盤とする包括的支援の強化、三つ目は地域丸ごとのつながりの強化、四つ目は専門人材の機能強化・最大活用実現に向けた工程などが決定されました。</p> <p>この改革の骨格、一つ目の地域課題の解決力の強化の中で、地域福祉計画の充実が盛り込まれています。</p> <p>平成29年12月に示された市町村地域福祉計画策定ガイドラインでは、計画に盛り込む事項として</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域における高齢者の福祉、障害者の福祉、児童の福祉その他の福祉に関し、共通して取り組むべき事項</li> <li>②地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関する事項</li> <li>③地域における社会福祉を目的とした事業の健全な発達に関する事項</li> <li>④地域福祉に関する活動への住民の参加に関する事項</li> <li>⑤包括的な支援体制の整備に関する事項の5つが掲げられており、それを踏まえなければ、法上の地域福祉計画として認められないものであるとされました。</li> </ol> <p>このようなことを踏まえ、第6次健康福祉総合計画策定に向けて計画の構成や包括的な支援体制をどのようにしていくか調査・研究を重ね検討しているところです。今後、皆様にお示しできる具体的なものがまとまりましたら次回の会議にてお知らせしたいと考えています。</p> |
| 吉武会長 | ただ今、次期計画策定について、現在検討中ということですが、このことでご意見などございますか。   |

|          |   |
|----------|---|
| 吉武会長     | <p>ちょうど地方分権が非常に進んだころに、この社会福祉法という法律が新たにできたんですね。ですから、その前にあった福祉の計画から比べると、わかりにくい計画で、市町村にこの計画の策定義務があるかということ、ないものでした。</p> <p>地方分権が進むというのは非常に望ましいことなのですが、全国的にどう進めていくのかということで、お話があったように、従来は何かガイドラインみたいなものがあるのか、ないのかよくわからないような形でした。つまり、策定の義務がないのに国からガイドラインを出せるのかといった問題がありました。</p> <p>しかし、一応、法律を整備して計画策定を努力義務としたため、国から少しわかりやすいガイドラインを出したというような形になってきたということですね。</p> <p>今、ご説明があったように何か非常に難しそうに見えるのですが、よく考えると、これまでにやってきていることです。自治体がそれぞれやってきている話をガイドラインで、5つ柱になるという、そういう形だろうと思います。事務局でよくご検討いただいて、何もこれは全くないことを取り組むわけではなくて、やってきていることを集大成していくということになるのではないのでしょうか。</p> <p>ただ、ガイドラインとあわせる作業は、結構大変みたいな感じがしますけれども、よろしくお願いをしたいと思います。</p> |
| 吉武会長     | <p>それでは、全体を通して、ご意見をお願いします。</p>  |
| 小川委員     | <p>歯科医師会では、口腔がん検診を実施しています。最初が先代の貴ノ花親方が口腔がんで亡くなったころから始まったので、13回か14回ぐらい実施していると思います。年々受診者がふえて、一時は500人超えの年度もありました。昨年度が希望者が250人、受診者が320人でしたが、今年度は希望者が200人、受診者160人。歯科医師会内でも人数の減少について話し合ったところです。</p> <p>また、子育て支援施設（わくわく広場とかすくすく広場）で、歯科医師1人と、あと衛生士2人帯同して、歯科医師が講話をした後に子どもにフッ素塗布を衛生士がするという事業を実施していましたが、今年度から衛生士帯同、フッ素塗布がなくなり、講話のみになるということは、会としては非常に残念だと思っております。</p>   |
| 健康づくり支援課 | <p>今年度は214人の申込みをいただきましたが、検診前日から台風の接近があり、検診当日のキャンセルが多く例年と比べて受診数が少なくなったというのが現状です。</p>   |

|      |  |
|------|--|
| 保育課  | <p>子育て支援施設で、歯科講話等、歯科医師会さんにはご協力いただきありがとうございます。ありがとうございます。</p> <p>今回、フッ素塗布がなくなった理由としましては、今、幼稚園も未就園児の保育ということが結構進んでいまして、子育て支援施設を利用しているのが大体0歳、1歳。歯が生える、生えないというお子さんがほとんどになってきております。</p> <p>そうした中で歯が生えていないお子さんが増えている中でフッ素塗布のやる意味があるのかどうかという視点で、今回見直しをさせていただきました。先日、にこにこ広場で講話を実施いただいたときに、フッ素塗布をしない分、先生と直接お話をする時間が参加者の方ができまして、それぞれのお子さんの歯の発育状況や、今後歯が生えてきたらどうすればいいのかなど。直接歯医者さんとお話ができたとということで、アンケートの結果も好評でした。今後も特に今の我々も歯医者へ行ってもなかなか検診だと先生とお話する時間もないし、やはり子どもを抱えた、お子さんも歯医者で直接先生と話す機会が減ってきているところもあるみたいなので、ぜひ今後も先生と直にお話しできる機会の時間を増やせればと思っております。</p> |
| 吉武会長 | <p>それでは、これで今日の議題は終了いたします。事務局から何かございますか。</p>  |
| 事務局  | <p>今回、いただいたご意見等は持ち帰りまして、改善、検討を行いたいと思います。</p> <p>皆さまの任期が、9月30日をもちまして満了となります。任期3年間の協議会運営についてご協力いただきまして、改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>なお、現在、各所属機関へ次期委員の推薦依頼をしており、既に提出いただいている機関もあります。再任のご了解をいただいている委員の皆様については、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>次回につきましては、来年2月ごろの開催を予定しております。日程が決まりましたら新委員の方へお知らせいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>以上でございます。</p>  |
| 吉武会長 | <p>それでは、これを持ちまして、平成30年度第1回健康福祉総合計画推進協議会を閉会いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ありがとうございました。</p>   |